

《担当者名》山田律子[rich@hoku-iryō-u.ac.jp]

【概要】

老年学という学際的な位置づけにおける老年看護学の専門性を明確にした上で、多様な健康状態にある高齢者と家族の支援に必要な理論や諸制度を学ぶ。さらに、老年看護実践の質の向上に寄与する研究を実施するための科学的思考と研究方法論を学ぶ。

【学修目標】

- 1) 老年学における老年看護学の位置づけと専門性について説明できる。
- 2) 高齢者と家族の支援に必要な理論および保健医療福祉制度・施策の変遷と現状、課題について説明できる。
- 3) 老年看護研究に用いるためのさまざまな尺度について説明できる。
- 4) 老年看護研究の動向を把握し、老年看護実践の質の向上に寄与する研究課題と研究方法論を考究できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	老年学と老年看護学	1)「老い」とは 2)老年学とは、老年看護学とは 3)老年看護論と老年看護学 4)老年学における老年看護学の位置づけと専門性	山田
3) 5	高齢者と家族を支える諸理論	1)高齢者と家族に関する統計学的特徴 2)高齢者と家族を支える諸理論 3)高齢者と介護家族に関する研究の動向	山田
6) 8	高齢者保健医療福祉制度の動向と政策的視点	1)高齢者と家族を支える保健医療福祉制度の変遷 2)介護保険法における現状と課題 3)高齢者と家族を支えるための政策的視点	山田
9) 12	老年看護研究に用いるさまざまな尺度	1)尺度とは：尺度の信頼性・妥当性・一次元性・有用性 2)尺度開発のための研究方法 3)老年看護学研究に用いる尺度と活用法：認知機能・生活機能の評価，うつ尺度，QOL尺度，他	山田
13) 15	老年看護実践の質向上に寄与する研究	1)老年看護実践の質向上に寄与する国内外の研究動向 2)老年看護実践の質向上に寄与する研究の課題 3)国内外の研究における自己の研究課題の位置づけ 4)研究課題を明らかにするための研究方法論の吟味	山田

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題レポート(40%)、プレゼンテーション(40%)、ディスカッション(20%)によって総合的に評価する。

【参考書】

随時、提示する。

【備考】

Google Classroomやメールで事前にレジユメを提出した上で、Zoomを利用して発表・討論を行う。

【学修の準備】

毎回、関連する文献を読み、レジユメを作成して、授業に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。